

# 同文会役員展を観て

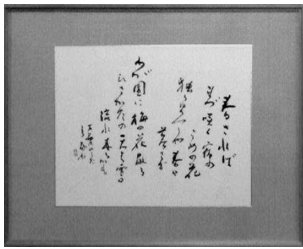
酒井香雨

さくらの開花と共に開催された展覧会は花を素材としたものが多く、漢字・かな・漢字かな交じり書といった様々な分野に渡る作品が出品されました。例年になく漢字かな交じり書が多く、今を生きる人達への呼びかけ、新しい書表現を問うているように思いました。新たな試みが見られ、漢字の音で仮名表記をして唱歌を書く、単体表現のなかに連綿が入るといった作品もみられました。一方、伝統的な漢字やかな作品は制約のあるなかでも線、素材、構成に重厚さというか凛としたものを感じさせ、書の一面のあり方として大切にしていきたいものだと思います。

なんでもありの今、時代の書表現をどのように繋げていくのか。問題提起を含んだ意欲的な展覧会でした。



作品上2点 鈴木静村 下 戸張丘邨



# 学生書廷の集い

「みんなで書を楽しもう」

福田香陽

三月二十九日(土)、旗の台駅から桜並木を歩いて一〇分程の地区センターにて、学生書廷の集いが開かれました。講師は高橋香樹主幹、出席者は、中・高生十名でした。鈴木静村会長、平岡不二子先生もご列席され、賑やかな会となりました。

まずは、高橋先生から拓本について説明があり、その後石碑のレプリカを使って実際に拓本を取りました。(拓本とは：例えば十円玉の上に紙を置いて鉛筆でこすると、その模様は浮き出てきますが、拓本は簡単に言うと、それを墨で行うようなものです。)文字が浮かび上がって来るその作業が面白く、生徒達は何枚も拓本を取り、とても綺麗に仕上げていました。

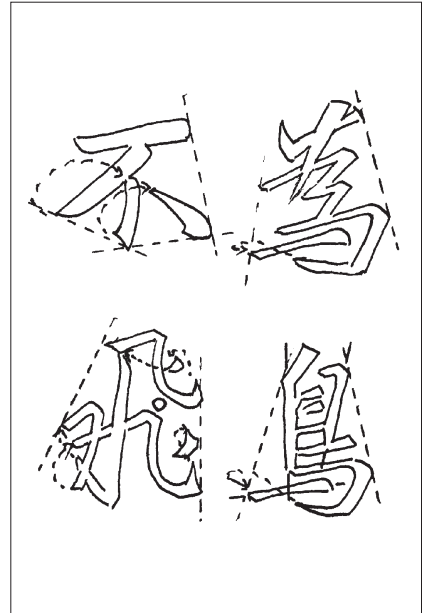
次は、半切作品の合作です。五人

一組になり、五文字の課題をひとり一文字ずつ書き、作品にしていきました。突然言われた文字を、練習もせずに人前で書くのは、生徒達にとっ

て初めての経験だったと思います。皆、緊張して紙に向かっていました。この企画を考えてくださった高橋主幹、お忙しい中ご列席くださった静村会長に感謝致します。また誌友の仲間との交流を図る場として学生の集いをお考えくださった不二子先生、貴重な体験ありがとうございました。生徒達は、普段できないことを学び、晴れやかな気持ちで会場を後にしました。帰りの桜並木は、七分咲きの桜が一層綺麗に咲いて見えました。(福田香陽)



◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料430円



興福寺断碑 王羲之

- 1、字句「為鳥不飛」
- 2、形式「半紙タテ使用。右に「為鳥」、左に「不飛」と臨書し、左余白に落款「○○臨」と調和を工夫し書き入れる。
- 3、概観「興福寺断碑」は王羲之の書を集字した碑であることは前にも述べました。また、集字した碑では、六七二年僧懷仁により建てられた「集字聖教序」は、王羲之の数ある集字碑では第一と言われています。この「興福寺断碑」は七二一年僧大雅により集字され建てられた碑です。この経過を考えれば、「興福寺断碑」は「集字聖教序」を中心に、その他の王羲之の作品の文字を集めてつくられたものと考えられます。集字というと簡単に思われるかもしれませんが、同一文字は同じものを使わない。流れに違和を感じさせない。字数が多い。現在のようにパソコンがなく、コピーもない時代のことを考えると、大変な労力を費やして作られたものに違いありません。臨書する私達は、僧大雅の労力に感謝し、真剣に取り組まなければなりません。
- 4、各字のポイント

**為** 二画目次の横画で止まって見えるが、これは右に図示したように、横画が一本多いがこの形は古典には多い。四点(横画となる)は構えの中心に。

**鳥** 楷書的だが、は意連綿。

**不** 一画目転折少し中に入り後外に開いてゆく。二・三画目の点は消えているが図のように点を補う。の転折も二画目の転折と同じ要領で。

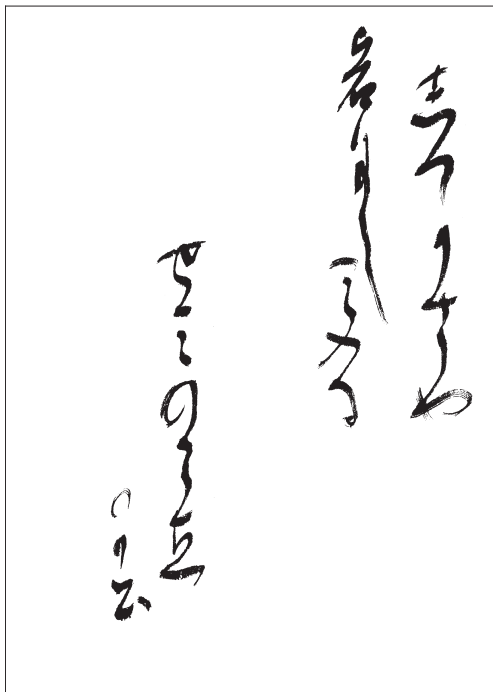
半紙課題(予告) (六月二十二日締切)



平岡華雪先生書 竹明かに風影を弄す(林希逸)

訳：青々たる竹影は風にうごき、

平岡華雪先生書 閑さや岩にしみ入る蟬の声(芭蕉)



興福寺断碑



出

量轉奇規。英断裁於稚齒。源之乎。  
量は転た奇規にして、英断は稚齒に裁つ。之が源たるや。

断裁

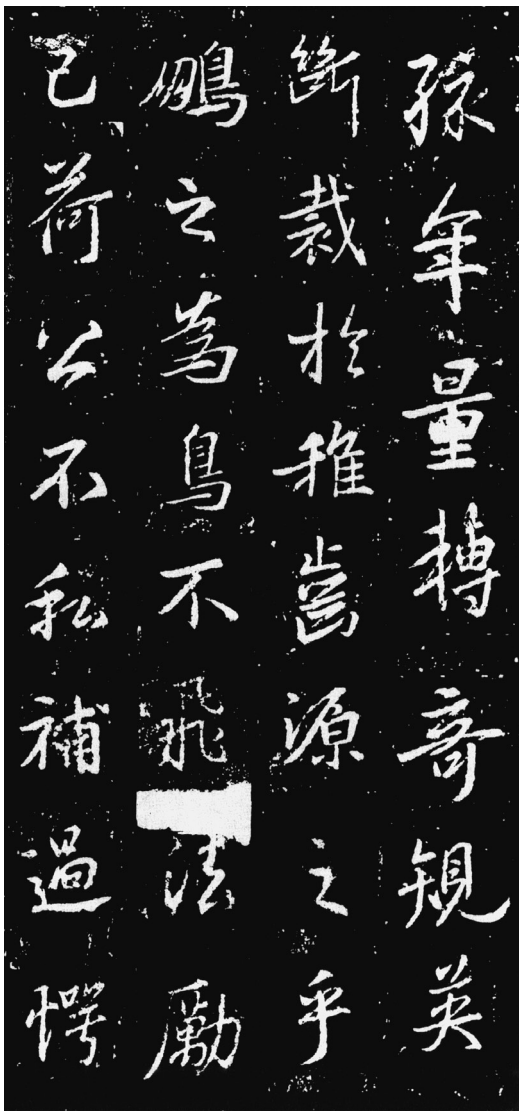
条幅臨書部は半紙臨書部と連動  
しています。半紙に取り組んだ  
方は是非条幅にもチャレンジし  
てください。また条幅だけ出品  
も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「○○臨」と調和を

工夫し書き入れる。

▽出品料五四〇円。



◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

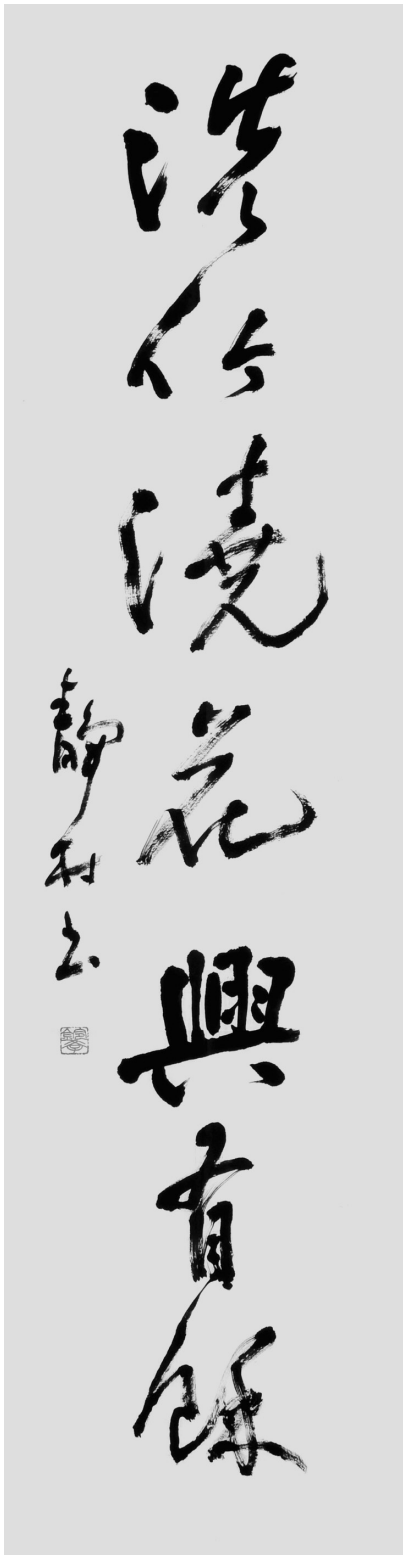
A  
高橋香樹主幹書

洗竹澆花興有餘(顧況)  
竹を洗い花に澆ぎ興餘有り。 訳：竹を洗い花にふりそそぐ雨には、尽きせぬ興趣がわく。



B  
鈴木静村書

今回は連綿線なしで書いてみましたが、それぞれの文字に動きを与え流れを表出しました。一行書きとしては字数が多いので、文字が小さくなり、字幅が均一になります。今回は「澆」で字幅を取りました。墨継ぎは「花」「有」は木簡を意識した連筆・形を取り入れてみました。



戦時中の白茅筆(兼毫)四号を使う。腰は勁いが、集鋒力に物足りなさ。根元いっぱいながらこの程度。一行作としては見劣り。みなさんはこれを参考に大きく羽ばたかせてほしい。洗 三水偏、ドンドンのリズムで。竹 前字から連綿受けスムーズ。澆 三水に一工夫を。興 墨継ぎ、中央部の書き方多様。各自の字典参照。餘 偏旁の釣り合いよく、一行作の締めとして。

予告 (七月二十二日締切) 千峰鳥路含梅雨 五月蟬聲送麥秋 (李嘉祐)

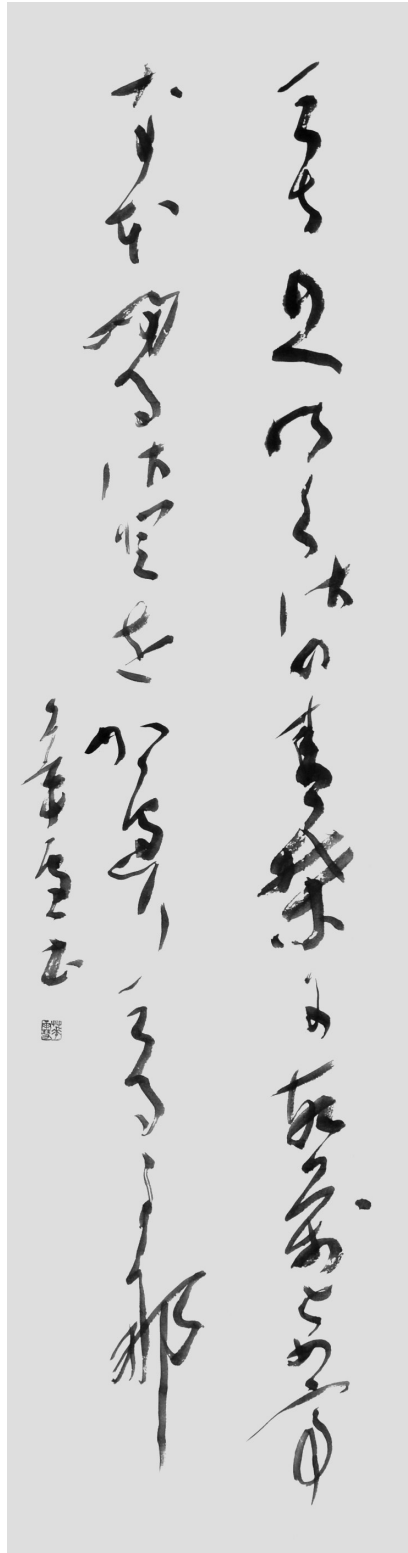
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料540円)



A

平岡華雪先生書

道のべの草の青葉に駒とめてなを(ほ)故郷をかへりみるかな(新古今和歌集 民部卿成範)  
三ちのへ能久佐の青葉尔故萬とめ亭な本婦る佐登をか邊り三る可那



B

福田玉翔先生書

道能邊の草の青葉耳駒とめて難本婦る里をか遍利見る可那



学び方

今月も二行書きの変型で、一行目上方だけ三行にしました。また漢字を多用して文字数を少なくしました。濃淡は二行書きの原則に従って、二行目中程より少し下で一回墨継ぎをして、二行目上方は渴筆で華やかさを出しました。漢字が多いと堅い印象になりやすいので、流れとリズムで柔らかさを工夫しました。また文字の内側の空間をなるべく広く取って「懐の広い字」を心掛けました。初心者は空間を等間隔にすることは難しいですが、それに慣れたら今度は等間隔を故意に避けた空間を研究します。それを「デフォルム」といいますが、創作の目標は漢字でも仮名でも、いかに調和よいデフォルムを表現するかです。そこでもいつも悩んでいます。

詞書「あづまの方にまかりける道にてよみ侍ける」とある。作者の成範は、平治の乱後、下野国(栃木県域)に配流。その折の詠として平治物語にも収められ有名。歌意は、道のほとりの草の青葉をませよと馬をとめて、(それを歩みをとめる口実にして)いつまでもわたしは故郷の都をふり返って見ている。

予告 (七月二十二日締切)

風そよぐならのをがはのゆふぐれはみそぎぞ夏のしるしなりける (藤原家隆)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

横山梢夕先生書

歲月消磨詩句裏（劉昂霄）  
歲月消磨詩句の裏、河山浮動酒杯の中。

歲月消磨詩句裏何  
山浮動酒杯中

梢夕書

訳：日月は詩句を作る間に経過し、山河影は酒杯の中にうつつている。

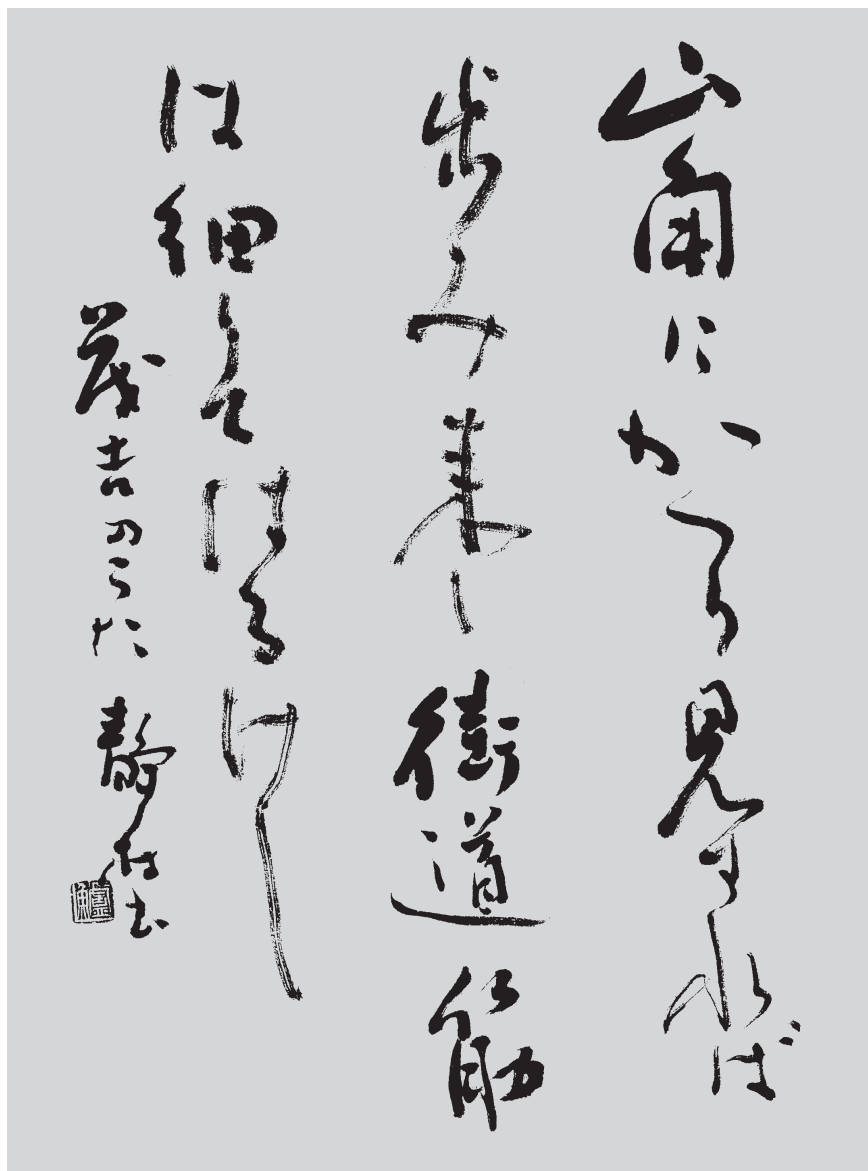
吉原豊臨先生書

振分の髪を短み青草を髪に縮くらむ妹をしぞおもふ（万葉集）  
振分の髪をみ志可三青草越かみ二た久らむ妹遠し所おもふ

振分の髪を短み青草を髪に縮くらむ妹をしぞおもふ  
たつと妹を

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
  - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

鈴木静村書



- 一行目 山、か、見、れは字幅を。「すれば」細めにリズム。
- 二行目 「歩み来し」渴筆内にも墨の表出を。街 墨継ぎ 道 細めに工夫。
- 三行目 細 字幅。はるけし 二字連綿。ただ、ムリにつづけなくてよい。各自の呼吸に合わせて自然体で。
- 落款 印の位置は各自で決める。

山角に

かへり見すれば

歩み来し

街道筋は

細りてはるけし

(齋藤茂吉)

○山角―山道の曲がり角

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

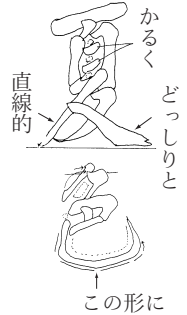
- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

夏木自ら新色(陳鑑)  
訳:夏木立は水々しい色を呈し

〈気になる画?〉  
「夏、木」の右払いは、半紙からはみ出さないように、のびのびと書きたい。「新」の末画は、曲らないように勢いよく。「色」の末画も、するっとさせないで、三折的に用筆したい。



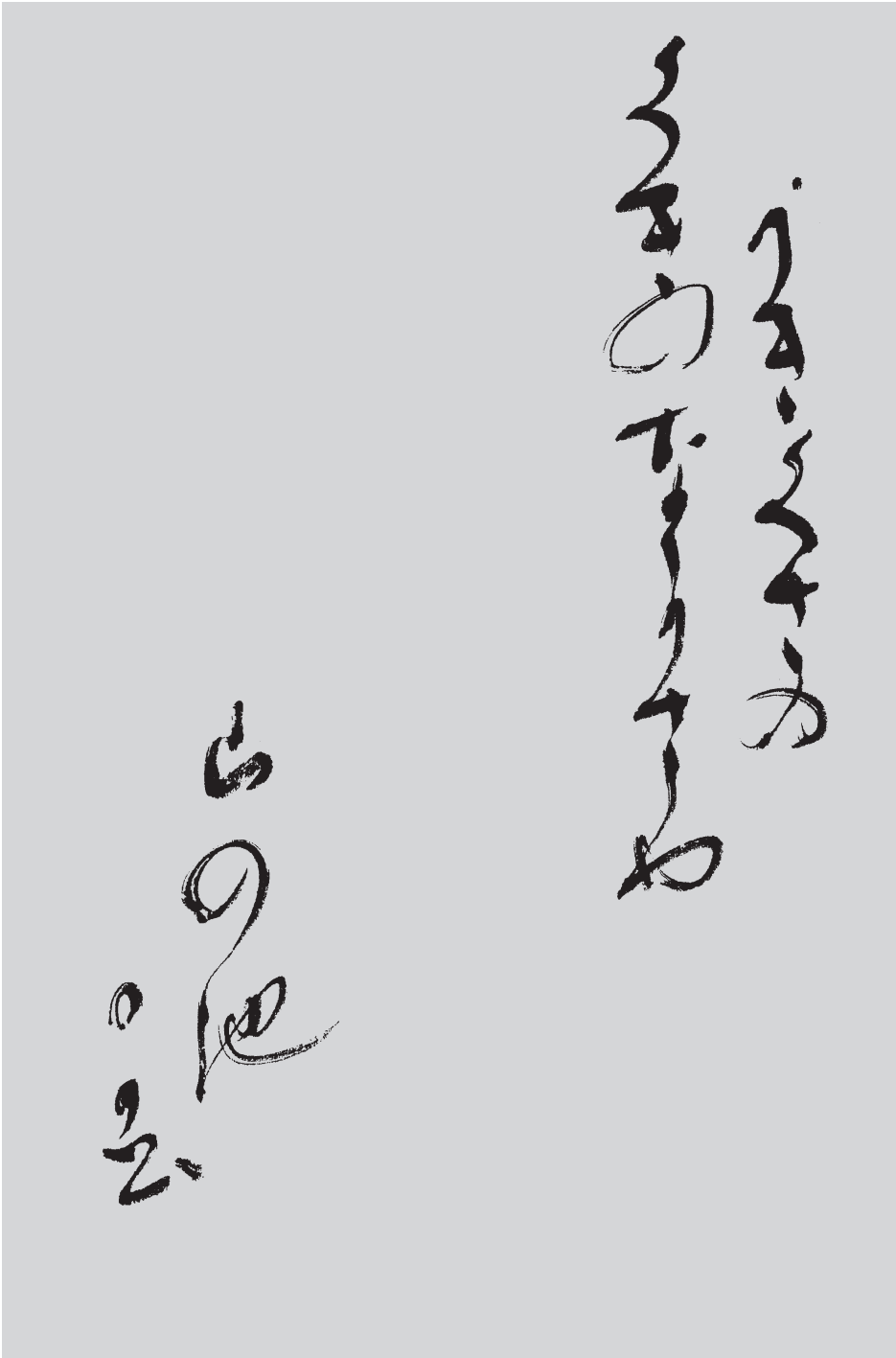
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。



平岡華雪先生書

浮草の茎の長さや山の池（虚子）  
うき久さの久きのな可さや山の池



〈左右両群の調和〉

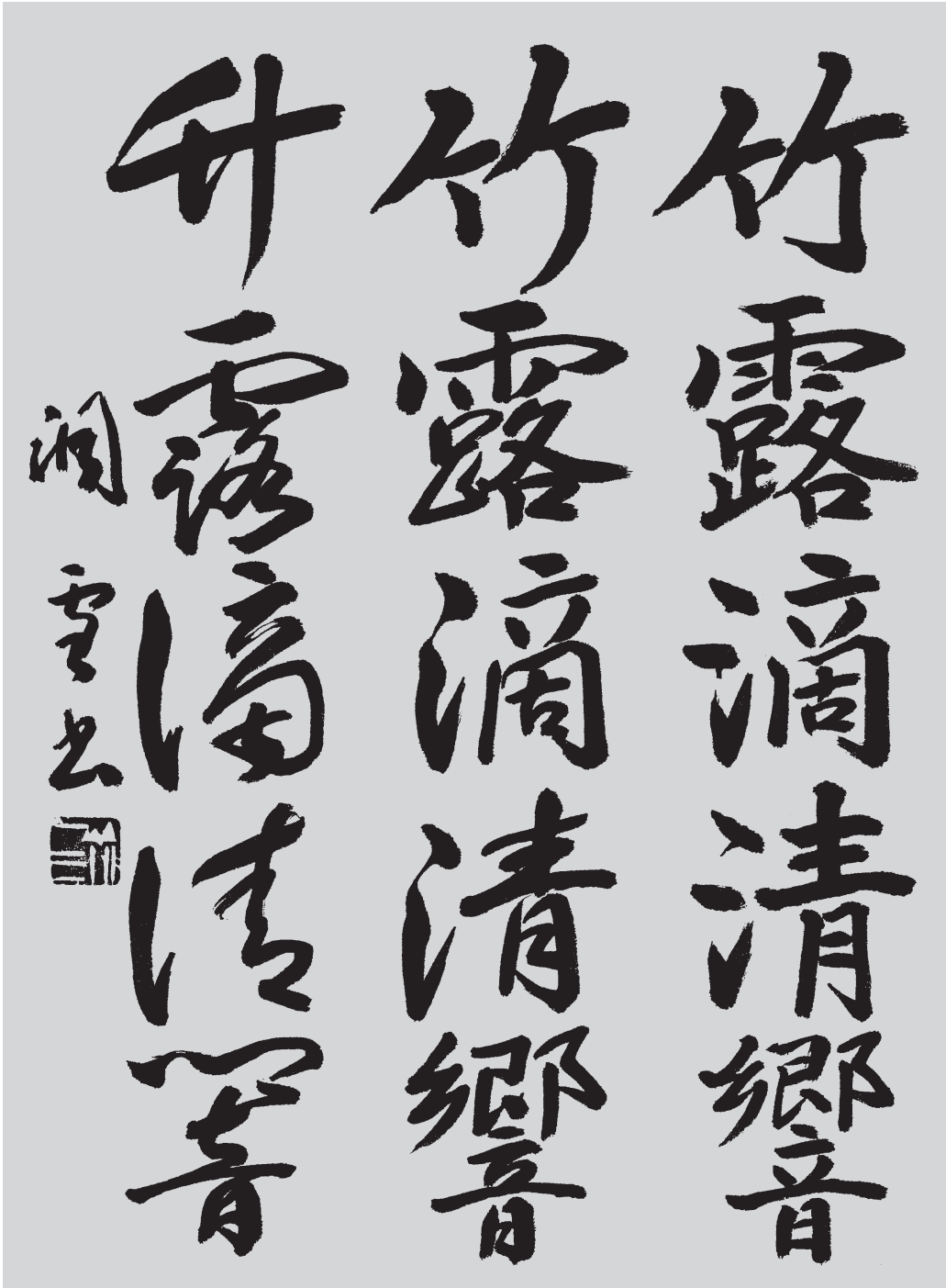
右群が全部かな文字。左群は漢字が主になる少字群。しかも、中央に大きい余白。この調和をどうとっていくか、アクセントをどこにとるか。初歩段階の人は、まず連綿に習熟のこと。ただお手本通りに書くのではなく、問題意識をもって取り組んでほしいものです。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

加藤 洞雪 先生 書

竹露滴清響（孟浩然）  
ちくろせいきやう したた  
竹露清響を滴らす。



訳：竹の緑は露を滴らせている。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

石田 愁華 先生 書

迎人幽鳥語 随意野花紅 (鄭江)  
人を迎えて幽鳥語り、意に随いて野花紅なり。

迎人幽鳥語  
随意野花紅

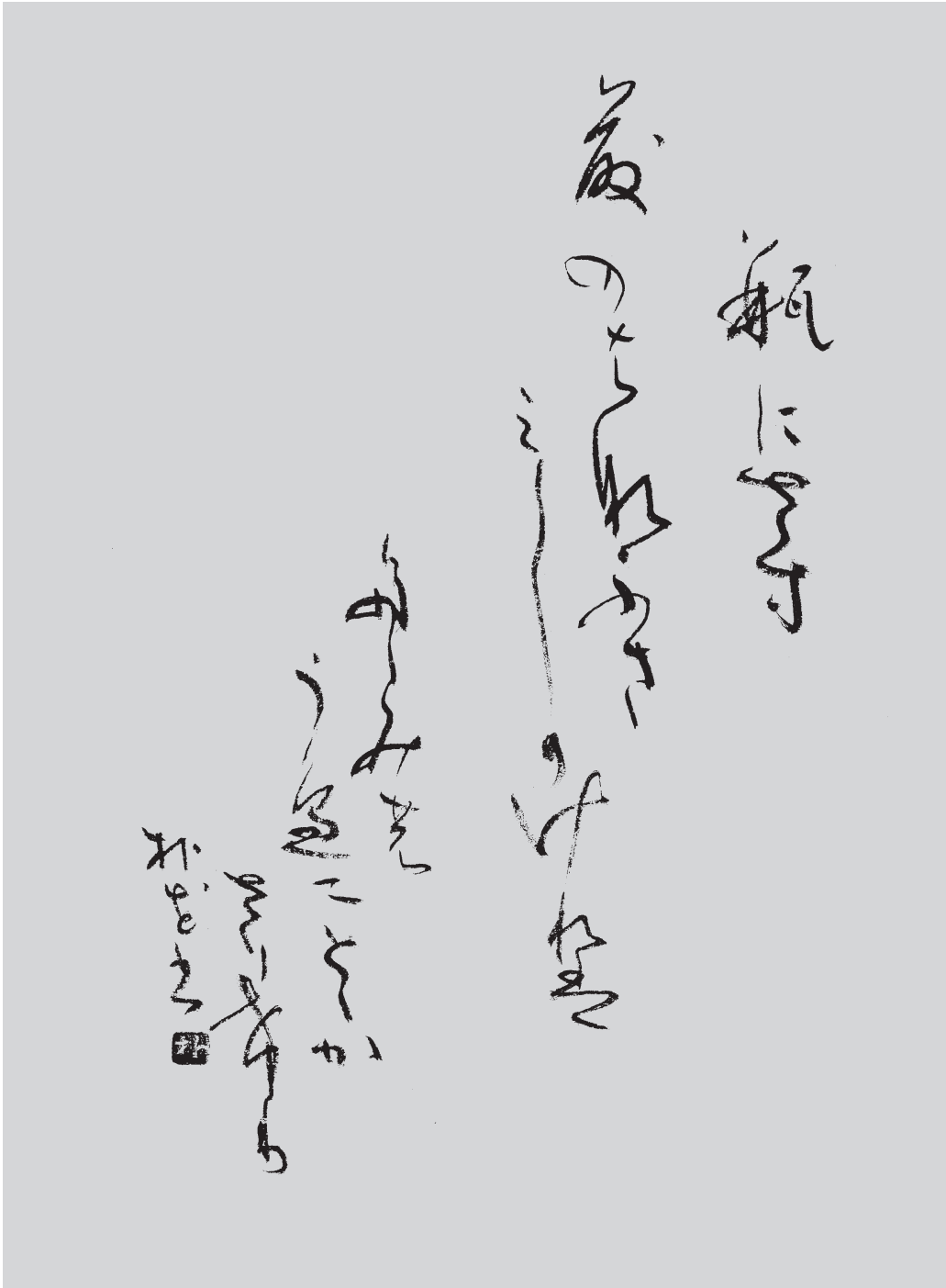
石田 愁華 書

訳：人を待ち受けて幽処に鳴く鳥は心ありげに面白く、意のままに野の花は咲いて赤いのである。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

向  
山  
朴  
花  
先  
生  
書



瓶にさす藤の花ぶさみじかければたゝみの上にとゞかさりけり(正岡子規)  
瓶にさす藤の者那ふさ三し可けれ盤多ゝみ農う邊二とゞかさり希利

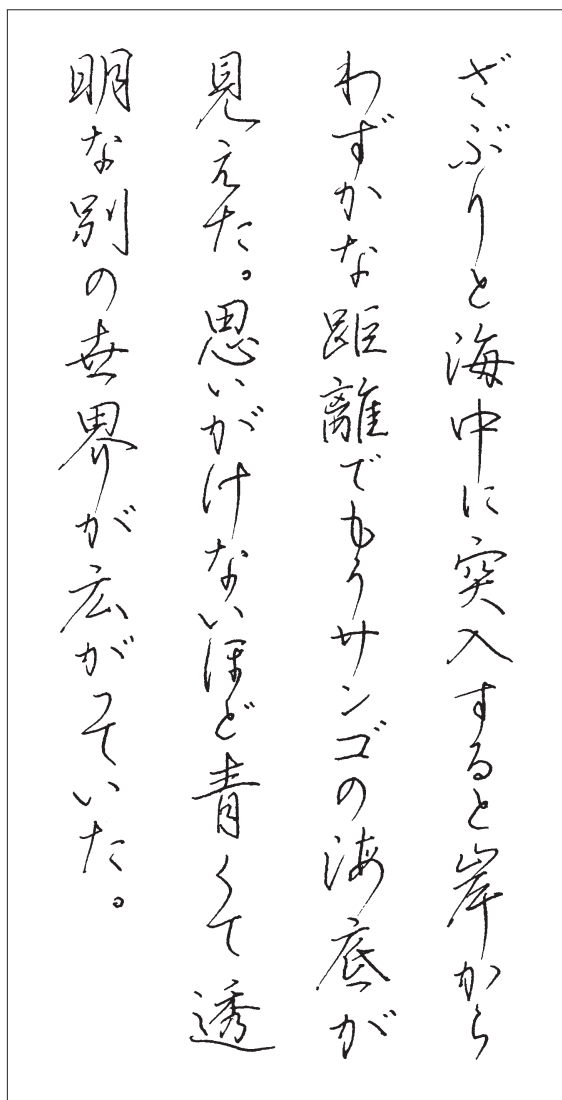
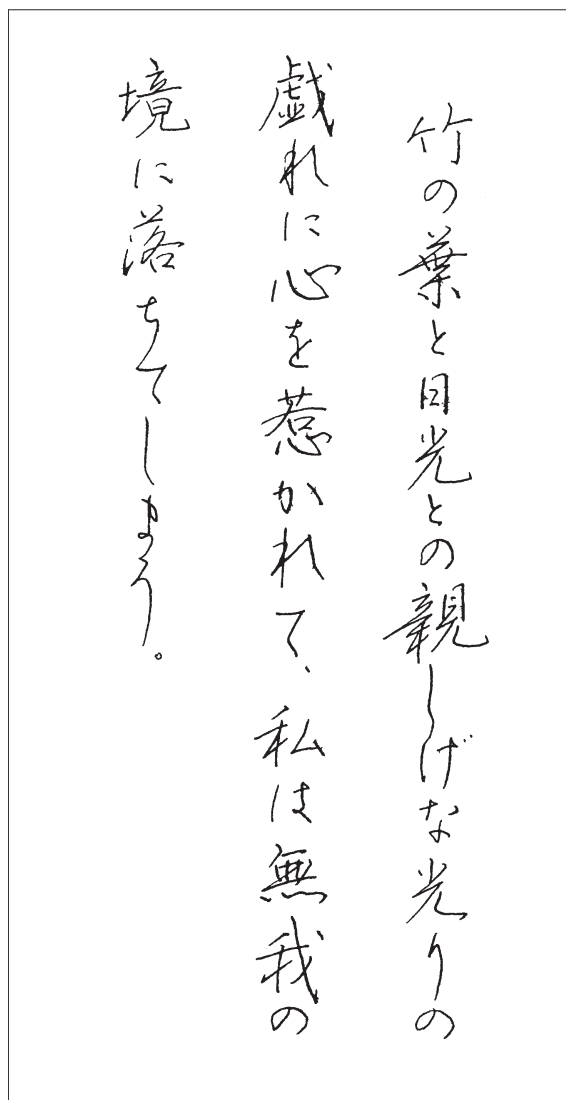
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

ざぶりと海中に突入すると岸から  
わずかな距離でもうサンゴの海底が  
見えた。思いがけないほど青くて透  
明な別の世界が広がっていた。

「もう少しむこうの空の下へ」  
椎名 誠

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

竹の葉と日光との親しげな光りの  
戯れに心を惹かれて、私は無我の境  
に落ちてしまう。

「伊豆の旅」川端康成